

舞鶴高専 | 図書館だより – 第 99 号

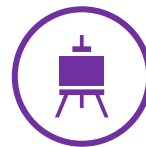
2022 年 3 月 8 日発行 舞鶴工業高等専門学校学術情報センター運営委員会



学生による図書紹介

図書委員がおすすめる厳選図書！

きっと読みたくなる本が見つかります。興味が湧いたらまずは本を手にとってみましょう。特別な準備など何も必要ありません。ただ好奇心に身を任せるだけでよいのです。



特集 インタビュー企画

大学へ編入学する 5 年生へのインタビュー

機械工学科

清水 伸竹

電気情報工学科

加藤 礼

電子制御工学科

栢分 峻汰郎

建設システム工学科

荒田 祥司



“The only thing that you absolutely have to know is the location of the library.”

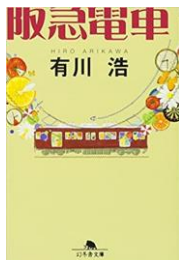
Albert Einstein

学生による図書紹介

機械工学科3年 奥田 真菜

『阪急電車』 有川 浩 著（幻冬舎）

片道僅か14分の阪急今津線（西宮北口～宝塚）。偶然、電車に乗り合わせた乗客たちの関わりがその人の生活や人生に影響を与え、それぞれの人の日常が交差していくショートストーリーです。停車した駅ごとに異なる視点から物語が進んでいくので、色々な人の視点で読み返すのもおすすめです。



阪急電車に乗ったことがない人でも、実際に存在する電車や駅名を使用しているので、写真をインターネットで調べて、自分の中のイメージと照らし合わせてみたりと楽しむことができます。コロナ禍で出かけるのが難しい日々に旅の気分を味わいませんか？

機械工学科1年 高嶋 俊樹

『若者を見殺しにする国』 赤木 智弘 著（朝日新聞出版）

2011年5月30日に出版されたこの本は2010年代の日本の論点を看破した評論集で、フリーターである著者が、著者の主観的な視点から、著者の知識を用い、自論を展開していく本です。



文面そのものは平易ではありますが、不思議と引き付けられる力がこの本の文面にはあります。しかし一般論に沿ったことが書いているわけではありません。なので文中には個人的に「これはおかしいのではないか。」と思える文言もあります。そしてそこから「自分はこう思う。」という意見を考えさせられることもあったので、とても興味深い本でした。

図書館にも置いてありますのでぜひ一度手に取って読んでみてください。

電子制御工学科1年 眞下 倅輝

『ぼく モグラ キツネ 馬』 チャーリー・マッケジー 著／川村 元氣 訳（飛鳥新社）

この物語は、「ぼく」が「モグラ」、「キツネ」、「馬」三つの生き物に出会い目的地のない旅をする話です。「ぼく」が生きていく中での悩みを仲間に相談し「モグラ」が進行役となりみんなで話しながら旅を

続けます。人の弱いところや優しいところ、希望に友情、人生の意味をみんなで考え、見つけていく、そのような内容の物語です。この本は絵本でありながらも大人の心に大きく響き涙させられる内容になっています。



コロナ過でストレスや不安がたまる中、人生に疲れた……、生きる意味が分からない、そんな人にはぜひ手に取ってもらいたい一冊です。

機械工学科5年 大西 洋汰

『天使と悪魔』 ダン・ブラウン 著（角川書店）

ハリウッドにおいて実写化された同名映画『天使と悪魔』の原作小説となっており続編に『ダ・ヴィンチ・コード』、『インフェルノ』がある。映画を知っている人からすると「映画1作目の『ダ・ヴィンチ・コード』が続編？」と思われるかもしれないが小説においては『天使と悪魔』がシリーズ第一弾となっている。



この本の魅力は作中で登場する美術品の数々が鮮明なカラー写真付きで注釈されている点です。これにより文字のみのものよりもより一層世界観に入り込むことができます。

またストーリーも非常に魅力的で、下手に脱線することや細々とした短編が続くことがなく次々と進むスピーディーな展開、随所に散りばめられた伏線にページをめくる手が止められなくなります。

そして映画を見て内容を知っている人も多いと思いますが本作は『ダ・ヴィンチ・コード』と違い脚色が多々見受けられるため、書籍版と映画版を比較してみるのも面白いかもしれません。

機械工学科2年 渡部 悠介

『リビルドワールド』 ナフセ 著（KADOKAWA）

この本は、旧世界と呼ばれる非常に優れた文明が崩壊した後の世界の話です。主人公は、スラム街出身の子供のアキラで、旧世界の遺跡を探索して遺物と



呼ばれる物を探す「ハンター」という仕事をしていました。ある時アキラが探索していると偶然、旧世界のAIと出会います。この数奇な出会いが、アキラに多くの試練を与え、それを乗り越えて強くなっていくという、成り上がりSFアクションストーリーです。

この話を紹介した理由は、人は変われるという事をこの話を通して伝えたいからです。主人公のアキラは最初は全てを疑い、敵として信じないような性格でした。これはアキラがスラム街という違法が日常のような環境に住んでいたからです。ですが、相棒ができたり多くの人との関わりを通して、アキラはとても良い方向に変化していきます。この変化を実際に感じる事ができたという人がいて、自分も少しは変わったという人が一人でもいれば幸いです。

建設システム工学科4年 和田 亮

『涼宮ハルヒの憂鬱』 谷川 流 著 (KADOKAWA)

「ただの人間には興味ありません。この中に、宇宙人、未来人、異世界人、超能力者がいたら、あたしのところに來なさい。以上。」…話の舞台は普通の県立高校。このセリフはその高校に入学した涼宮ハルヒがクラスメイトの前で自己紹介をした時のもので、これを聞いたごく普通の男子高校生であるキョンは度肝を抜かれ、変な奴には関わらないでおこうと思います。しかし、「毎日髪型を変えて学校に来る」「体育の前に男子がいても気にせず着替える」「学校にあるありとあらゆる部活に仮入部をしたあげくどの部活にも入らない」などの奇行を続ける涼宮ハルヒに、ある日、キョンは何気なしに話しかけてしまいます。ただ普通の日常を望む主人公やその周囲の人たちが、非日常を望むメインヒロインかつもう一人の主人公である変わった女子高生に振り回されながら高校生活を過ごすという日常であり非日常を描いた小説です。

この話のおすすめのポイントは、主人公のキョンの視点で物語が進むところや作者である谷川流の独特な言い回し、いろいろなところに張り巡らされた伏線です。自分はページをめくる手が止まりませんでした。

「涼宮ハルヒの○○」としてたくさんのシリーズが出ていますが、その一巻目であるこの『涼宮ハルヒの憂鬱』はこの中でも完結しているため是非是非読んでみてください。



機械工学科4年 増茂 和志

『エベレストには登らない』 角幡 唯介 著 (小学館)

僕はこの本の題名にひかれた。エベレストという世界で一番高い山に登らないという題名は、読みたくなるだろう。この著者の角幡唯介さんは探検家であり、例えばカナダの北極圏 1600km を徒歩で踏破などをしている。このような人がエベレストには登らないと書いている本であり、より興味が出てくると思う。

僕はこの本を読んで自分がこれから生きていく人生についていろいろなことを考えさせられた。著者の角幡さんの実体験をもとに書かれているエッセイであり、著者の考え方や思いがとても伝わってきた。自分はまだ学生であり、仕事や結婚などまだ遠いような話もあったが、それでも今後の自分の考え方を変えてくれるような話題がありとても面白い本だ。自分も著者のように自分の夢を追って探検をしてみたいと思える本であり、何かに挑戦したくなるような本でありおすすめである。



電子制御工学科4年 榎 滉斗

『キノの旅』 時雨沢 恵一 著 (KADOKAWA)

この本をおすすめするのは2つの理由があります。

一つは物語の進み方が普通のライトノベルとは異なり、一つの物語が一話で完結するため、時間がない時でも読みやすい点です。また、本を読むのが苦手な人でも丸々一冊読まなくても良いことからおすすめできます。主人公「キノ」と喋れるバイク「エルメス」が一話につき一つの国を訪れるといったものですが、国ごとに独自の価値観や文化等があり、キノが決めた「一つの国につき2泊3日のみ滞在する」というルールの中で物語が進みます。キノがその国の人達に影響を受けることもあれば国の人達がキノに影響を受けることがあり、第三者視点で物語を眺めている自分達にも深く影響を与える内容でもあります。

もう一つの理由として現在23巻まであるうえ、漫画化やアニメ化がされていることから『キノの旅』の世界観をより知ることができるからです。小説といった形式の都合上、どうしても『キノの旅』の世界観を想像できないといった場合でもアニメや漫画といった絵を見ることで視覚から得る情報は増え、より理解を深めることができます。



『キノの旅』は現在舞鶴高専の図書館にも所蔵されているので、興味があれば是非読んでみてください。

電気情報工学科 4 年 佐々木 信

『君の臍臓をたべたい』 住野 よる 著（双葉社）

主人公である「僕」は病院で偶然「共病文庫」というタイトルの本を拾う。それは「僕」のクラスメイトである山内桜良がつづっていた秘密の日記帳で、彼女の余命が臍臓の病気により、もう長くはないことが書かれていた。「僕」はその本の中身を興味本位で覗いたことにより、家族以外で唯一桜良の病気を知る人物となった。

「僕」は小説を読むのが好きで、友人や恋人などの関わり合いを必要とせず人間関係を自己完結させている平凡な男子高校生。対して桜良は元気で表情豊かな少女であり、常に多くの友人に囲まれていた。そんな正反対な性格をしている「僕」に桜良は「死ぬ前にやりたいこと」を手伝ってほしいと頼み、それに付き合っていくことになる。



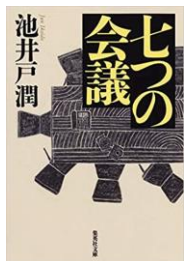
電気情報工学科 2 年 信永 勘助

『7つの会議』 池井戸 潤 著（集英社）

この本は『下町ロケット』などで有名な人気作家の池井戸潤さんが書き、数年前に野村萬斎主演で映画化された事でも話題になったベストセラー企業小説です。

企業小説ということで大手電機メーカーの子会社の中堅メーカーが物語の舞台です。社内の会議の中で部長や課長、係長など役職や職種の違う社員たちが不作為から作り出された不祥事に立場の違いから異なる方法で対峙していく様子を 8 章にまとめて語られる作品です。

この小説は様々な視点からとある不祥事が明らかになっていくというストーリーとなっています。視点の違う人が気づくわずかな違和感、そのピース一つ一つが組み合わさっていき結末に向かっていくという話で、必ず全員がめでたしめでたしで終わる話ではありません。最後に全ての筋が通る作品となっているので、是非そのような作品に興味がある人は読んでみてください。



建設システム工学科 3 年 貫井 かな

『リング』 鈴木 光司 著（KADOKAWA）

平凡な日常に飽きていませんか？代わり映えのない毎日に刺激が欲しい人に、私はこの本をお勧めしたいと思います。『リング』は、皆さんご存知の「貞子（さだこ）」が登場するホラー小説です。物語は、同日の同時刻に 4 人の若者が謎の死をとげることから始まります。なぜ彼らは死んだのか？誰に殺されたのか？事件の真相を解明していく中で、主人公は自らの命の刻限に気づいてしまいます。

薄気味悪さに吐き気を催すような生々しい風景描写、得体の知れない恐怖がじわりじわりと解き明かされるストーリー展開。ただの活字の羅列のはず…なのに吸う空気さえ生ぬるくさせる、映像以上の臨場感があなたを未知の世界へと誘います。ホラーでありミステリー、古いのに新鮮なスリルと中毒性のある不朽の名作です。興味がなくてもハマります。騙されたと思って読んでみてください。



建設システム工学科 4 年 松山 倫大

『陰の実力者になりたくて』 逢沢 大介 著（KADOKAWA）

ネット小説サイトから書籍化された逢沢さんの作品で、ジャンルはコメディのライトノベル小説となっています。あらすじとしては、陰の実力者にあこがれていた少年が、事故により死亡したことにより、異世界に転生してしまい、そこで陰の実力者として仲間を増やしながらかつ活動し始めて…という内容になっています。

この作品は小説サイトから始まっているので、そちらから読み始めても面白いと思います。普通の漫画とスピンオフ漫画も出版されているのでぜひ読んでみてください。

テンポの良いコメディ小説を読みたい人におすすめの作品です。



建設システム工学科 3 年 米原 悠海

『夜は短し歩けよ乙女』 森見 登美彦 著（KADOKAWA）

主人公の大学生が恋したのは、同じ大学に通う、ちょっと変わった「乙女」という一人の女性。主人公は

物語を通して「乙女」を追いかけて、様々な出来事に巻き込まれていく。この物語はその様子を主人公目線で語っている、「乙女」の追っかけ録である。

風邪の流行や文化祭、この時期にぴったりの話題が盛り込まれ、ミステリアスな乙女と、個性豊かな周りの登場人物たちによって織りなされる、森見登美彦氏の独特で面白い世界観は寂しくなるこの季節の憂鬱も吹き飛ばしてくれるでしょう！

本校図書館にもあるので、是非読んでみてください。



電気情報工学科 5 年 中島 滉太

『ゼロから作る Deep Learning Python で学ぶディープラーニングの理論と実装』 斎藤 康毅 著（オライリージャパン）

この本は機械学習を触ってみたい、研究したいという人の最初の一冊に特におすすめです。パーセプトロンや CNN を自分自身の手で一から実装していくため、深い理解をすることが可能です。Python の書き方も説明されているため、Python を触ったことがない、苦手といった人でも大丈夫です。

最新の技術が載っているわけではないため、この本を理解して、それをそのまま研究にいかすことは難しいかもしれません。しかし、この本の内容を理解すれば、CNN でどのような処理をして、なぜ精度が上がるのかといった内容がはっきりと自分の口で説明できるレベルで理解できます。現在の最先端の技術もその応用のため、基礎を知っていると知らないのとでは、理解するのに大きな差があります。僕自身もこの本から入門し、機械学習を学びました。そのため、機械学習に興味がある人はこの本から勉強を始めることをお勧めします。



電気情報工学科 5 年 大森 崇志

『空の境界(上)・(中)・(下)』 奈須 きのこ 著（講談社）

2 年間の昏睡から目覚め、「本来ありえないモノ」が「見える」ようになった少女「両儀式」や、彼女の周りの人々をめぐる物語。

ビルの屋上をさまよう幽霊たちや視界内のものを捻じ曲げる少女など、非日常的な現象と戦いながら 2 年

前に何があったのか、昏睡の前後で何が変わったのかを探ることで物語は進んでいく。

登場人物同士の、一瞬の油断が死に直結するようなバトルシーンは文字からだけでもその迫力や緊張感が十分に伝わってくる。

一方、どこか日常とはズレている登場人物たちや、魔術を中心としたさまざまな用語は引き込まれるような魅力のある、独特の世界観を作り上げている。

図書館の書架にも置いてあるので是非一度手に取っていただきたい。



電気情報工学科 2 年 三間 優仁

『ソードアート・オンライン』 川原 礫 著（KADOKAWA）

2026 年世界初のフルダイブ型 VRMMORPG ゲーム「ソードアート・オンライン」とそのプレイを可能にする家庭用ゲーム機「ナーヴギア」が発売された。「ソードアート・オンライン」サービス開始に伴い全国 1 万人がプレイした。しかし、サービス開始後、ゲームからログアウトできなくなっていた。困惑するプレイヤーに対し、開発者・茅場が説明する。ログアウトできないのはゲームのバグではなく、「ソードアート・オンライン」本来の仕様であると。ゲームからログアウトする方法はただ一つ、ゲームのラスボスを倒すこと。

なおβテスト時は 1~2 ヶ月で全体の十分の一しかクリア出来ていなかった。さらに茅場はゲームの中でキャラが死ぬとナーヴギアがプレイヤーの脳を焼き切り、死に至らしめるという。絶対に死ねなくなったゲームの中で主人公・キリトはクリアに向けて奮闘する…！

10 年以上も人気を誇る「SAO」シリーズ。フルダイブという技術はまだ空想のものではありますが、こういった技術を現実にするのが高専生の使命ではないでしょうか。

こういった目線からも、普通にストーリーとしても面白いので是非読んでみてください。



電気制御工学科 1 年 瀧畑 光希

『化物語 上』 西尾 維新 著（講談社）

これは現代の怪異の話である。主人公阿良々木暦は春休みなんとも奇妙な「事件」に巻き込まれた。それ以来、彼は「怪異」と関わった（個性の強い）少女たちと出会い、その怪異にまつわる事件を解決していくのだった。「独特」な世界観、西尾維新による「独特」な言葉回し、何回も使っているこの「独特」こそ『化物語』の魅力なのだ。



これは「物語シリーズ」（全 29 巻）の記念すべき第一巻であり、阿良々木暦とその少女たちの出会い、彼女らの掘り下げに重点を置いている。この全 29 巻という巻数をみて、諦める人も多いだろう。補足しておくとして一巻あたり 500 ページくらいある。なので、実のところオススメし難い本ではあるが、病みつきになる文はここにしかない。

電子制御工学科 2 年 入谷 美志成

『86－エイティシックス－』 安里 アサト 著（KADOKAWA）

これは差別され、「エイティシックス」と呼ばれ戦場に立たされる少年たちと、それを指揮する少女の物語である。



ある時、ある国が周辺諸国に宣戦を布告した。「レギオン」という無人口ロボット部隊による侵攻で、舞台である国「サンマグノリア共和国」は窮地に立たされる。そこで、共和国政府はある決定をする。それは要塞の中に全市民を避難させることだった。しかし要塞の中は全市民を受け入れるにはあまりにも狭い。だから、共和国は白系人種の国なのだが、共和国は有色人種を敵として市民権を剥奪する。有色人種の人々はエイティシックスと呼ばれ、要塞の外の収容所に収容され、要塞の建造とレギオンとの戦闘を強いられる。

それから 9 年、ヒロインである「レーナ」はエイティシックスである主人公の「シン」の指揮官として部隊に配属される…というのがあらすじである。この作品は、シンたちエイティシックスとレギオンの戦いの物語であるのと同時に、レーナの成長の物語でもある。レーナはシンたちと衝突することで自分の間違いに気づき、自分を変える。

読む際は、もちろんシンたちとレギオンとの戦闘も面白いが、レーナの成長にも注目していただきたい。

電気情報工学科 4 年 太田 悠暉

『三日間の幸福』 三秋 隼 著（KADOKAWA）

人の一生や寿命には、いったいどれだけの価値があるのか？というのは、誰もが考えたことのあるような問いだと思います。生涯賃金と同じなのか、価格なんてつけられないかけがえのないものなのか…。



寿命を買い取ってくれる店があったとして、あなたは自分の残りの人生に、どれくらいの価格がつくと思いますか？また、どのくらい寿命を売って、残りの人生をどのように過ごしますか？

この本の主人公はその店に行き、1 年 1 万円という価格で寿命を売り払うことになります。主人公の元に残ったのは、3 ヶ月と 30 万円。そして、店の利用者の監視員であるミヤギ。

残された 3 ヶ月間を、主人公はどう生きるのか？ミヤギはなぜ、監視員になったのか？

是非とも多くの人に読んでもらいたいおすすめの一冊です。

インタビュー企画 大学へ編入学する学生へのインタビュー

~~~~~

インタビュアー

電気情報工学科 5 年 大森 崇志

電子制御工学科 3 年 瀧口 虎琉

電気情報工学科 2 年 加川 直澄

電気情報工学科 2 年 吉田 陸

### ☆ 機械工学科 清水 伸竹（岐阜大学へ編入）

**清** 機械工学科の清水です。よろしくお願いします。

**イ** よろしくお願いします。清水さんの卒業後の進路が進学ということなのですが、編入学に至った経緯を教えてください。

**清** 4 年生の後期中間あたりで金型による塑性加工や切削（いわゆる、曲げや穴あけ加工）とその加工機について詳しく学びたいと思い、岐阜大学を志望しました。

**イ** 試験勉強の為に使用した書籍を教えてください。まずは数学をお願いします。

**清** 編入では最もメジャーな『大学編入試験問題 数学/徹底演習』です。

**イ** おすすめ理由は何ですか。

**清** 『大学編入試験問題 数学/徹底演習』は、この一冊でどの大学の編入試験もカバーできます。微分積分や線形代数を効率的に復習できます。最初は試験本番をイメージして、二回目以降は苦手な問題を中心として問題に取り組みました。私の受けた大学の試験は面接と口頭試問のみでしたが、滑り止め校の対策として勉強しました。

**イ** ありがとうございます。では、次に英語をお願いします。

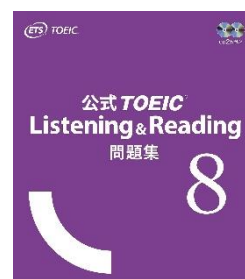
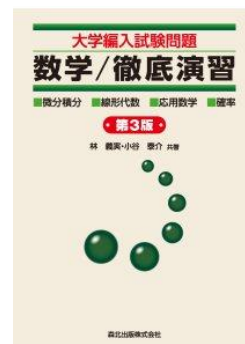
**清** はい。私の受けた大学は、技科大を除いて TOEIC で点数が決まるので『公式 TOEIC 問題集』ですね。4 年生の冬頃から取り組み始めました。

**イ** なるほど…、ありがとうございます。では、専門科目はどうですか。

**清** 授業で使用した教科書です。教科書の例題や問題を中心として学習しました。試験問題も数値を変えただけのような問題が多かったです。

**イ** 最後に後輩へのメッセージをお願いします。

**清** 今はコロナ禍で難しいとは思いますが、オープンキャンパスは、その大学の雰囲気をつかむ上で大切です。どんな研究室があるかも知っておくべきだと思います。また、特に推薦入試を受験する上で重要なこととして、定期試験はどちらかといえば、中間試験を重視したほうが良いと思います。直感的なのですが、期末試験は単位をとらせるために易化する傾向があるためです。私自身は、岐阜大学の推薦入試を受けました。成績に関する出願要件は特にありませんでしたが、日ごろから定期試験で高得点を取り、成績 A や A + を取り続けることが大切だと思います。



☆ 電気情報工学科 加藤 礼（大阪大学へ編入）

加 電気情報工学科の加藤礼です。よろしくお願いします。

イ よろしくお願いします。加藤さんの卒業後の進路が進学ということなのですが、試験勉強の為に使用した書籍を教えてくださいませんか。1教科目は数学をお願いします。

加 編入では最もメジャーな『大学編入試験問題 数学/徹底演習』。有名過ぎて今さら紹介するような参考書ではないのですが、これを極めるのが良いと思います。また、数学の勉強で物足りないと感じたら『明解演習』のシリーズもお勧めです。数学力を持て余している人にはうってつけです。

イ なるほど。では、両者のおすすめ理由をお願いします。

加 『大学編入試験問題 数学/徹底演習』は、この一冊でどの大学の編入試験もカバーできる点です。『明解演習』は、他の参考書には載っていない問題が収録されている点です。難関大学の編入学試験では『明解演習』で見た問題が出ることもあるので、難関大学を受ける人にはおすすめです。しかし、優先順位としては低く、まず『大学編入試験問題 数学/徹底演習』を極め、受きたい大学の赤本も解いたうえで、余裕があれば取り組む程度です。

イ ありがとうございます。では、2教科目物理をお願いします。

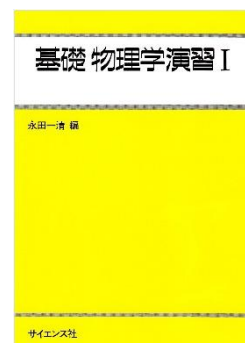
加 はい。ただ、僕の受けた学科はあまり物理を重視しなかったもので、そこまで本腰を入れて対策したわけではないのですが…。あげるとしたら『基礎物理学演習』ですね。これ一冊で編入学の物理は9割カバーできると言っても過言ではないです。また、過去問などを解いていても、この参考書の数値を変えただけの問題などが出題されていたりしましたね。編入用とは書いていないのですが、ほぼ編入用と言っても差し支えないです。もう一つ、これは問題集ではないのですが『微積で解いて得する物理』もおすすめです。編入学試験の物理は大学物理なのですが、大学物理は高校物理と違い微積を用いるのです。むしろ、微積を使わないと解けない問題もあります。高専の1、2年で学ぶ物理の知識は編入学においては不要なので、早いうちに微積を用いて物理の問題を解く事に慣れておいた方が良いでしょう。

イ なるほど、ありがとうございます。では、3教科目英語をお願いします。

加 英語は3冊紹介します。1冊目は『百式英単語』という英単語帳です。最初の4割に英単語の覚え方が載っており、それを元に残り6割に載っている英単語を覚えるという感じです。この英単語帳の特徴は、1つの単語に1つの訳しかない事です。普通、英単語には多くの訳があって混乱しがちですが、この英単語帳にはそれがありません。また、英語と日本語を交互に口に出すという覚え方をこの参考書では唱えています。

イ 書くのではなく、読んで覚えるということですか？

加 そうですね。書いていると時間がかかってしまうので。この覚え方を繰り返していくと、反射的に英単語の日本語訳がわかるようになります。





イ 英単語は基本的に複数の意味がある場合が多いと思いますが、2 つ目以降の意味はその参考書ではわからないのでしょうか。

加 そうですね。2 つ目の意味は Google 等で調べると解説があるので、その解説から根本的な意味を学んでいました。また、熟語もこの参考書だけでは習得できません。

イ では、熟語は別の参考書を使われたのですか？

加 はい、少し難しいのですが『DUO3.0』という参考書を使っていました。編入学で英語を対策するならマストと呼べるほどだと思っています。この参考書を覚えると、英文を読んだとき 8 割の単語は分かるようになると思います。その代わり、分量が多いので覚えるのはとても大変です…。

イ なるほど、他に英語で使用していた参考書はありますか？

加 では、次は英文法についての参考書で『一億人の英文法』という参考書です。授業では機械的に教えられる英文法を、ネイティブの人がどういう気持ちでその英文法を使っているかという解説があり、感覚的にわかりやすいです。この参考書のおかげで英語への苦手意識がなくなりました。



イ なるほど、その参考書は大変よさそうですね。私も探してみます。では続いて、おすすめの勉強法を教えてください。

加 数学と物理に関しては先程の参考書をまず 1 週目はすべての問題を解き、2 週目は間違えた問題だけを解くのが良いと思います。また、数学は定理の証明を Google で調べ少しくらいは理解しておくとお応用が利きます。また、全てに共通することですが、1 回で覚えようとせず、徐々に理解するという意識を心掛けることが大切です。

イ では、最後に後輩へのアドバイスをお願いします。

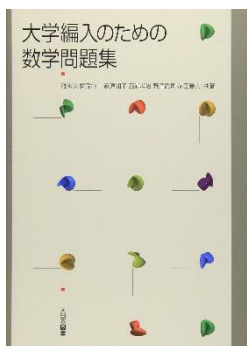
加 舞鶴高専では編入が少数派であり、学力入試は 3、4 人程度しかいませんでした。その為、勉強が精神的にきついと感じたら、一人で頑張らず、他学科でもよいので仲間を探して切磋琢磨することが大切です。また、舞鶴高専は進学への環境が整っていないわけではないのですが、自主的に情報を集めたりしないといけません。そういった時は自分の好きな先生に頼るなどして、受験を有利に進めてください。

☆ 電子制御工学科 栢分 峻汰郎（東北大学へ編入）

栢 電子制御工学科 5 年の栢分峻汰郎です。

イ よろしくお願ひいたします。ではまず、おすすめの書籍名を教えてください。

栢 はい、自分は試験科目が数学と物理と化学だったからそれぞれ一冊ずつ挙げると、数学は『大学編入のための数学問題集』という、図書館にある白い本がおすすめです。物理だと、図書館にある本の中では『基礎物理学演習Ⅱ』っていう、黄色い本がおすすめです。1 より 2の方がおすすめ。化学だと、『演習 化学熱力学』っていう黄色い本があるんですけど、図書館にある本の中だとこれがおすすめです。



イ では、それぞれのおすすめ度を教えてください。

栢 編入で、数学と物理と化学をする人なら一回は手を付けて欲しいですね。あ、化学に関しては熱力学に特化した本なので熱力学が範囲にあるならですけど。おすすめ度としては各科目の中では最高レベルです。

イ なるほど、ではそれぞれのおすすめ理由をお願いします。

栢 まず、数学の『大学編入のための数学問題集』は、解答がすごく丁寧で、この本全体の厚さの 7 割くらいが解答になってます。

イ 解説がしっかりしてる？

栢 そう。解説がめちゃくちゃしっかりしてて、解答も一つの解答だけでなく別解とか式変形とかもしっかり書いてあって置いてけぼりにならないようにちゃんと配慮されてます。そのうえ、難易度も易しいのから難しいのまで幅広くあるからすごく勉強になります。結構、学校の問題集って解答しか書いてないみたいな不親切なことが多いんですけど、そういう不親切さがないというか、学生のことを考えて作られてる感じます。次に、『基礎物理学演習Ⅱ』は構成が、、例えば電磁気とかの範囲だったら、電磁気の範囲のまとめみたいなページ、わかりやすく言うと Excel 化学の最初みたいな。

イ ああ、なるほど。

栢 あれみたいな感じで丁寧にまとめられてて、すごく見やすいです。教科書読むよりも楽。例題もわかりやすい問題が多くて、その範囲を独学する場合とかに、初めての人がとつきやすい内容になってます。2 の範囲は電磁気と現代物理学が主な範囲になっているので他の範囲を勉強するときには『基礎物理学演習Ⅰ』を使ってもいいけど 1 は少し上級者向けなので、他の参考書を探すのもありだと思います。最後に化学の『演習 化学熱力学』は問題にこだわってて、どうでもいい問題がないです。この本に載っている問題は他の問

題集に載ってるような問題よりも、理論的な問題を重点的に攻めてて、エネルギーがどうか本質的な部分をついた問題が多くなっています。

イ 結果だけが大事になる問題ではない問題が多いということですか？

栢 そうです。例えば公式の導出が問題として含まれている等、そういう深いところまで理解するための問題が多くなっています。また、先ほどの『基礎物理学演習Ⅱ』にもあったようなまとめページもあって構成も見やすくなっていて、独学でも十分に理解できる内容でわかりやすくなっていました。

イ ありがとうございます。では、それらの参考書を使ったおすすめの勉強法はありますか？

栢 まず、言えるのは「周回しよう」ということです。ゲームとかでやればやるほど手が慣れてきて上手くなる、というのと同じで、問題集とかもやればやるほどスムーズに解けるようになるのでとりあえず周回しようというのはどの参考書にも言えます。

イ いろんな参考書に手を出すよりも一冊を極める方がいいということですか？

栢 そうです。手を出しすぎるよりも一冊を何回もやる方が勉強になります。自分も最初はいろんな本に手を出したけれど、最終的には一冊を極めたほうが良いと感じました。

イ ちなみに、個人差はあると思うんですけど、目安として何周くらいしたというのは聞いても大丈夫ですか？

栢 自分は大体三周くらいしました。一周目は普通にまじめに解いて、二周目は一周目で解けなかったところ、わからなかったところを解きます。三周目は流し読みして、これ分からない、解けなさそうというところがあればそこを解くといった形で勉強していました。また、物理や化学は理論を重視して勉強しました。問題を解くテクニックを覚えるんじゃなくて、理解しながら解く方がいいです。

イ 理論をしっかり理解することが大切と。

栢 そうですね。理論をしっかり理解しておけば変な問題が来た時にも対応できると思います。

イ 次に、栢分さんがなぜ大学に行くことを選んだかを教えていただけますか？

栢 理由を話す場合、専攻科と比較すると、という話になってしまうのですが、自分の場合は施設が大きいという点と、大学に自分の興味がある分野を研究している先生がいて、その先生のもとに行きたいという理由、そしてより多くの留学生と交流したいという理由でした。留学生に関しては、舞鶴高専にもいるのですが、自分の志望する大学は研究室の半分が留学生といった具合に、舞鶴高専よりも留学生の人数がはるかに多く、留学生がとても多い環境に行ってみたいという理由で志望しました。

イ 大学に編入する理由で給料を良くしたいという理由を挙げる人がいますが、そういう理由で大学に行くことについていいことだと思いますか？

栢 自分は別にいいと思います。給料を良くしたいというのも立派な理由の一つなので。理由なく、何となく大学に行くのであれば全然いいと思います。

イ では、最後に編入学を目指す後輩へのアドバイスをお願いします。

栢 編入学試験をするときに、勉強に本がたくさん必要になるんですけど、本って一冊一冊がものすごく高いんですよ。一冊 1000 円とか。また、一部の参考書などは出版会社がつぶれてて、入手困難だったりもしますし。そういった本を入手するのに図書館を有効に活用して欲しいと思います。自分の場合は使った本の 7 割は図書館の本だったのもあり、図書館を有効活用した方が金銭的にも楽だとは思っています。また、これは裏技みたいなものなんですけれど、借りた本をコピーするという手もあります。図書館で借りてきた本をコピー機でコピーしてホッチキス止めすると、書き込み可の参考書を自分で持つことが出来ます。ただし、コピー



したものや人に配ったりすると著作権法に引っかかるので、あくまで個人利用にとどめることが条件ですが、本を購入する分を考えると用紙代、印刷代が圧倒的に安いのでお金の節約になります。図書館には結構いろんな本があるので編入学を目指す人は一回行ってみたいと思います。

## ☆ 建設システム工学科 荒木 祥司（金沢大学へ編入）

**荒** 建設システム工学科の荒田です。よろしくお願いします。

**イ** よろしくお願いします。荒田さんの卒業後の進路が編入学ということなのですが、編入学に至った経緯を教えてくださいませんか。

**荒** もともと、高専に入った時から進学したいと考えていて、3年、4年生を過ごしていく中で専門科目の楽しさを実感し、受験勉強を始めました。

**イ** 試験勉強の為に使用した書籍を教えてくださいませんか。1教科目は数学をお願いします。

**荒** 編入では最もメジャーな『大学編入試験問題 数学/徹底演習』です。

**イ** なるほど。では、おすすめ理由をお願いします。

**荒** 『大学編入試験問題 数学/徹底演習』は、この一冊でどの大学の編入試験にも対応できます。苦手としていた問題を中心として勉強しました。

**イ** ありがとうございます。では、2教科目英語をお願いします。

**荒** はい。私の受けた大学は、TOEICで点数が決まるので『TOEIC 公式問題集』ですね。英語を聞きながらそれを真似して発音するシャドーイングと音読を中心として勉強しました。



**イ** ありがとうございます。それでは最後に後輩へのメッセージをお願いします。

**荒** なかなか、ここに行きたいという大学を見つけるのは難しいものです。今は、コロナ禍で難しいとは思いますが、オープンキャンパスなどを通して、受験勉強をしてまで行きたい大学を見つけることが大切だと思います。

## 編集後記

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、図書委員にとって大きなイベントの一つであるブックハンティングを実施することができませんでした。代替措置として図書委員には購入希望図書を取りまとめてもらい、結果的には新たに本を図書館に所蔵することはできましたが、これでブックハンティングの目的を果たすことができたわけではありません。ブックハンティングの最大の意義は出会いです。オンラインでの書籍検索では、書店での予期せぬ本との出会いを経験することは難しいです。出会いは計算できる経験ではありませんし、web 広告のようにあらかじめプログラムできるものでもありません。なによりも出会いなき書籍検索では、実際に本を手に取り、装丁をながめ、紙の手触りとインクのおいを楽しみながらページをパラパラとめくることもできません。

今や電子書籍は当たり前のように普及し、誰もが容易にアクセスでき、この先さらに書籍の電子化は進むことでしょう。便利な世の中になったものです。でも、その一方で、それがゆえに紙媒体の本が存在感を発揮することも確かなことだと思います。どれだけ時代が進んでもきっと紙媒体の本がなくなることはないでしょう。仮に世の中から紙が消滅したとしても、電子書籍が本という形態をとる以上、紙媒体の本の存在が私たちの記憶から抹消されることはないでしょう。電子書籍が紙媒体の本を範として発展したものである以上、電子の文字を読む行為には、紙に書かれた文字を読む行為をどこかで彷彿とさせるものがあるはずです。現に、タブレット用のタッチペンの中には、センサーが搭載され、紙に鉛筆で書くときの書き心地を再現しているものまであります。E インクの技術はタブレットのスクリーン上でわざわざ紙のような視認性を可能にしています。紙を求めることなく、インクを求めることなく、本を読むという行為が可能だと思われそうにないほどに、私たちは紙媒体の本にあまりにも慣れ親しんできたのだと思います。

本というものの、さらには、読書行為は触知可能な何かと深く結びついているのではないのでしょうか。読書によって得られる知識や経験はたしかに直接的に手で触れられるものではありませんが、それでも確実に何かに触れたような手ごたえを与えてくれます。誰かあるいは何かの血と肉を摂取することで自分自身の血肉とするあの生々しい感覚です。現場から離れたところで文字の世界を気楽に享受するだけだったはずの読者が、いつの間にか著者の経験の真ただ中に引き込まれ、自らその現場に居合わせて体験しているようなあの奇妙な感覚です。私の好きな漫画の一つ『ジョジョの奇妙な冒険』には魅力的なキャラクターが多数登場しますが、中でも Part 4 に登場する岸边露伴はとても魅力的な特殊能力を有しています。人を本にする能力です。彼の能力を受けると対象となる人物の皮膚はパラパラとめくれ、本のページとなり、そこには人生のすべての記憶が書かれているのです。他人を読むことができる、これだけでももちろん魅力的ですが、彼はそのページに書きこみを加えることで、その人物を思いどおりに操ることもできます。読者として、そして著者として他人の人生に触れることができるのです。やはり読むことは何かに触れることと関係があるはずです。想像してみてください。岸边露伴の能力を受けた人物の皮膚がスクリーンとなり、それを指でスワイプしながらページ送りをする、、、、なんだか興ざめしませんか。紙としての身体、あるいは身体としての紙だからこそ魅力があるのではないのでしょうか。

今はただ、ブックハンティングをいち早く再開できるようになることを願うばかりですが、まずは 2 年ぶりに図書館だよりを発行できて喜ばしく思います。残念ながら紙媒体ではありませんが。

学術情報センター運営委員会 藤田 憲司



図書委員 電気情報工学科 5 年 大森 崇志 電子制御工学科 3 年 瀧口 虎琉  
企画・編集チーフ 電気情報工学科 2 年 加川 直澄 電気情報工学科 2 年 吉田 陸



舞鶴高専図書館だより 第 99 号

発行年月日 令和 4 年 3 月 8 日

編集／発行 舞鶴工業高等専門学校学術情報センター運営委員会

〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋 234 番地



Web サイト:

[www.maizuru-ct.ac.jp/facilities/library/](http://www.maizuru-ct.ac.jp/facilities/library/)



連絡先:

0773-62-5600 (代表)



FAX:

0773-62-5558 (代表)